

苫小牧市立病院卒後臨床研修プログラム概要

1 必修科について

1) 法定の必修科

① 1年次：内科系6ヶ月、救急3ヶ月、選択必修科2ヶ所（計1ヶ月でも可）

② 2年次：地域医療1ヶ月

※選択必修科＝外科、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科

2) 当院の必修科

① 1年次：内科系6ヶ月、麻酔科3ヶ月、外科2ヶ月

※内科系は、「内科」「消化器内科」「循環器内科」「呼吸器内科」から選択可。

② 2年次：地域医療1ヶ月、精神科1ヶ月

※選択必修科のうち、外科、精神科を必修としているため、他の期間は基本的に自由選択可能。

※地域医療・精神科は、それぞれ必修分と併せて2ヶ月間を限度とする。

3) 研修プログラムの推奨事項

① 小児科、産婦人科については、各1ヶ月以上の研修を推奨する。

② 外科についても2ヶ月を必修期間としているが、選択期間の1ヶ月を加えた3ヶ月間の研修を推奨する。

2 「救急」研修の考え方について

1) 麻酔科3ヶ月、1年間を通じた救急外来研修により到達目標を達成する。

2) 月3回程度の救急外来日当直研修は、1年次のべ30日以上となるため、「日当直20日で1ヶ月相当」の基準から1.5ヶ月以上に相当する。

3 研修協力病院・協力施設

1) 精神科は、平成29年度については「医療法人大島記念会 苫小牧緑ヶ丘病院」または「北海道大学病院 精神科」で研修を行なう。平成30年度以降は、「医療法人大島記念会 苫小牧緑ヶ丘病院」または「医療法人こぶし 植苗病院」で研修を行なう。

2) 地域医療研修は、「日高町立門別国民健康保険病院」または「むかわ町国民健康保険穂別診療所」で研修を行う。

3) 保健所研修は選択科として「苫小牧保健所」で研修を行なう。

4) 当院プログラムに記載のない診療科研修に限り、「北海道大学病院」または「札幌医科大学付属病院」で最大2ヶ月間研修を行なうことが可能。

ただし、当院プログラムに記載のある診療科研修を希望する場合については、当院研修管理委員会の判断とする。